

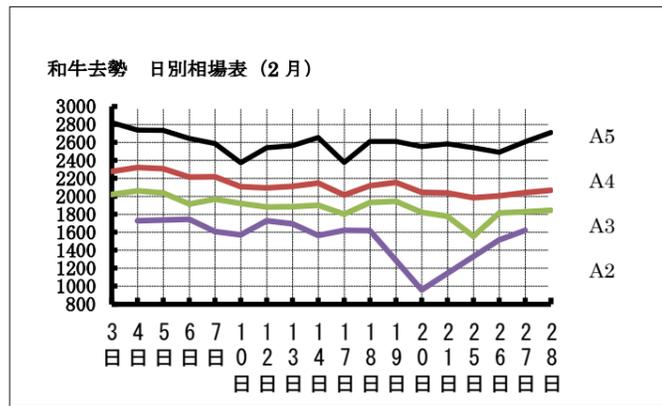
月刊しばうら

2020年3月号

大動物事業部

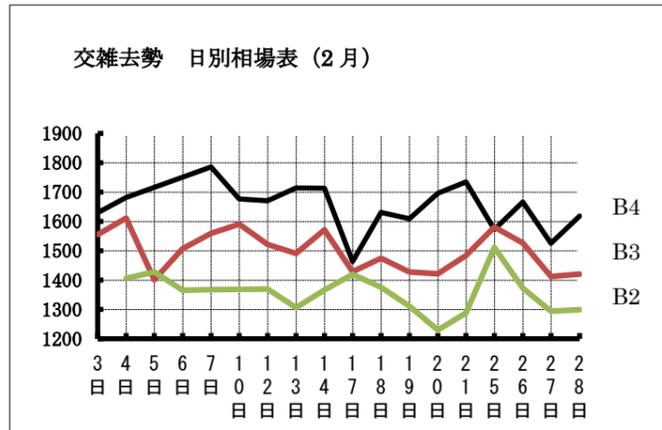
<2月の相場動向>

和牛去勢はA5が前月比101円安の2,615円(前年同月比192円安)、A4が同163円安の2,133円(同370円安)、A3が同146円安の1,907円(同398円安)、A2が同146円安の1,619円(同453円安)となり、交雑牛去勢はB4が前月比68円安の1,662円(同89円安)、B3が同121円安の1,502円(同154円安)、B2が同149円安の1,344円(同236円安)となった。新型コロナウイルスの影響により外食やインバウンド需要、ロイン系の輸出に大打撃を受けている状況にあり、和牛、交雑牛ともに全面安の厳しい局面を迎えている。



和牛去勢 (月平均)

A5	2,615円	(前年同月比 93.2%)	(前月比 96.3%)
A4	2,133円	(" 85.2%)	(" 92.9%)
A3	1,907円	(" 82.7%)	(" 92.9%)
A2	1,619円	(" 78.1%)	(" 91.7%)



交雑去勢 (月平均)

B4	1,662円	(前年同月比 94.9%)	(前月比 96.1%)
B3	1,502円	(" 90.7%)	(" 92.5%)
B2	1,344円	(" 85.1%)	(" 90.0%)

乳牛去勢 (月平均)

B3	上場なし		
B2	950円	(前年同月比 97.6%)	(前月比 99.8%)

<3月の牛肉輸入量予測>

財務省の貿易統計によると、2020年1月の輸入量は前年同月比6.3%減の47,382tとなった。1月1日から発行となった日米貿易協定により米国産が増加したものの、豪州産の減少で相殺されたことでトータルでは前年割れとなっている。チルドは米国産を中心に増加となり4.0%増の20,470tであったのに対し、フローズンはトリミング材の高騰などで豪州産・NZ産の落ち込みが影響し12.9%減の26,912tとなった。

農畜産業振興機構によると3月の牛肉輸入数量は、前年比11.3%増の4万3,700tと予測。チルドは、5.3%減の2万1,200tであるのに対し、フローズンは輸入量の少なかった前年の反動で34.0%増の2万2,500tと前年同月を大幅に上回る予測をしている。

輸入牛肉通関量	1月	前年同月	前年同月比	
チルド	豪州	7,813	8,955	87.2%
	米国	10,686	9,395	113.7%
	その他	1,971	1,327	148.5%
	合計	20,470	19,677	104.0%
フローズン	豪州	11,388	17,782	64.0%
	米国	10,795	8,152	132.4%
	その他	4,729	4,963	95.3%
	合計	26,912	30,897	87.1%

単位：t 出典：食肉速報

<3月の全国出荷頭数予測>

家畜改良センターの個体識別情報によると、2020年1月末現在の全国飼養頭数は前年同月比1.1%増の388万9,000頭となった。内訳は黒毛和種が同2.6%増の168万3,000頭、交雑牛は0.8%減の49万9,000頭、乳雄は3.9%減の26万4,000頭、乳雌は0.8%増の136万1,000頭であった。前年対比では引き続き黒毛和種は増加基調、交雑種及び乳雄は減少傾向となっている。

農畜産業振興機構による3月の出荷予測頭数は、全体で前年比0.4%減の8万3,300頭と予測している。品種別にみると和牛は0.9%増の3万5,700頭、交雑種は4.6%減の1万8,600頭、乳用種は0.6%増の2万7,600頭としている。

東京市場の3月のと畜頭数は7,000頭を予定しています。

<3月の牛枝肉相場見通し>

新型コロナウイルスの影響により各種イベントや行事が自粛あるいは中止となり、外食をはじめホテル関係などでは深刻な状況となっている。外出を控えた反面で内食に期待をしたいところであるが、単価設定の抑えられるアイテムが荷動きの中心になると思われる。いずれにせよ仕上りの特に良い枝肉はある程度単価が伸びているものの、全体的には厳しい相場展開が予測される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,450~2,550	B4	1,600~1,700
A4	2,050~2,150	B3	1,500~1,600
A3	1,850~1,950	B2	1,300~1,400
A2	1,550~1,650		
乳牛去勢			
B3	1,000~1,050		
B2	900~950		

小動物事業部

1月の全国と畜頭数は、前年同月比1.9%減の139万6,200頭と減少した。また、1月の豚肉通関数量は7万2,332t(前年同月比17.1%増)となり前月並みとなった。内訳はチルドが3万3,568t(6.7%増)、フローズンは前年同月が日欧EPA発効直前だったこともあり、3万8,764t(27.8%増)と大幅に増加した。

2019-2020年の需給量と推定期末在庫						
月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
1	79,477	61,703	19,643	144,246	79,203	58,424
2	75,590	81,638	19,818	147,097	72,334	78,787
3	74,058	68,303	21,221	145,268	72,588	70,432
4	77,788	98,235	22,544	167,222	76,406	76,281
5	75,254	84,396	21,643	184,963	76,085	66,655
6	67,048	76,246	23,332	183,952	65,290	77,257
7	74,899	83,315	21,828	192,531	76,348	76,736
8	67,745	84,982	20,615	200,018	68,891	77,385
9	68,819	78,125	20,351	197,854	69,025	80,399
10	79,112	83,940	20,128	198,840	79,247	82,954
11	77,534	82,715	21,804	191,175	75,817	90,380
12	80,884	72,264	20,806	181,469	81,783	81,970
1	80,864	72,280	21,474	187,738	80,150	66,011
比	101%	117%	109%	130%	101%	113%

比：最終月の前年同期比 出典：農畜産業振興機構 単位：t、%

1月豚肉通関実績					
国名	冷蔵		冷凍		
	前年比	国名	冷蔵	前年比	国名
アメリカ	17,890	112.5	デンマーク	5,338	149.1
カナダ	14,845	101.6	スペイン	9,785	188.8
メキシコ	831	88.3	メキシコ	8,001	119.9
			アメリカ	4,337	98.4
			カナダ	2,226	69.1
合計	33,568	106.7		38,764	127.8

<2月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
3日	67,200	400	376	746
4日	68,500	444	417	919
5日	66,900	466	446	652
6日	68,900	470	445	811
7日	68,600	440	416	927
10日	71,700	432	404	729
平均	68,633/日			797/日

全国と畜頭数は7万頭に届かない日が続いたが月初の手当や1月最終週の相場下落の反動から価格はやや上昇傾向となった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
12日	75,300	439	427	856
13日	72,700	430	415	924
14日	67,700	440	423	959
17日	67,600	440	426	745
18日	69,100	465	444	882
19日	68,100	441	431	786
平均	70,083/日			842/日

11日の祝日により稼働日が1日少なかったことで12日の全国と畜頭数は7万5,000頭を超えた。暖冬により鍋物需要が伸び悩み末端消費は鈍い状況で相場はおおむね400円台の弱もち合いの展開となった。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
20日	70,000	415	398	871
21日	68,000	421	402	967
25日	74,100	432	413	856
26日	71,800	424	399	896
27日	73,000	403	390	777
28日	67,000	408	365	870
平均	70,650/日			872/日

新型肺炎により、消費自体は冷え込み始めたが、カナダ産などの輸入物の通関遅れの影響が続き、国産への代替需要があったことから全体的に荷動きは良化し始めたが一時的な需要であり相場への影響はなく400円台前半での展開となった。

<3月の豚枝肉相場見通し>

農林水産省による3月の肉豚出荷予測では138万7,000頭(前年比104%)と予測している。当市場の3月集荷予定頭数は1万7,500頭、1日あたりでは約833頭を見込んでいる。

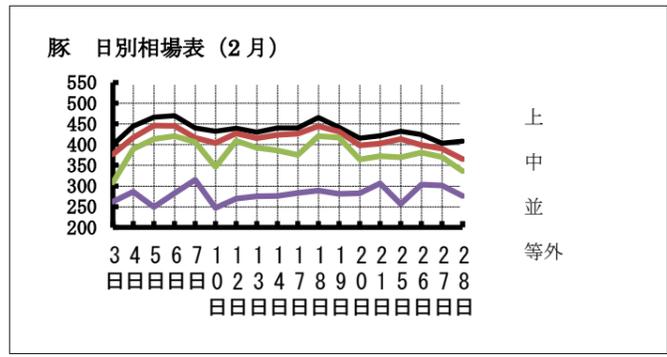
農畜産業振興機構によると3月分の豚肉輸入見込数量は、総量で6万9,700t(同101.6%)、内訳はチルドが3万3,400t(同97.9%)、フローズンは3万6,300t(同105.3%)と予測。

冷蔵輸入量は、前年同月をわずかに下回ると予測する。3ヵ月平均では、前年同期をやや上回ると予測する。冷凍品輸入量は、底堅い需要を背景に先高を見越した輸入業者の買い付けの増加により前年同月をやや上回ると予測する。なお3ヵ月平均では、前年同期並みと予測する。

新型肺炎の影響によって外食を控える傾向が強まっている。全国で学校が休校となったことによりスソ物の需要には期待できない。また、量販店などでは加工食品や冷凍食品などが記録的な売れ行きとなるなど国内消費は混乱した状況がしばらく続きそうだ。

例年3月中旬あたりから花見や卒業シーズンなどでロイン系やスペアリブの引き合いが強まる時期だが今年は自粛ムードにより相場への影響も期待できないことが予想される。

以上のことから当市場の上物平均価格は450円前後、中物平均価格430円前後の展開と予測する。



出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

東京都港区港南2-7-19
 東京食肉市場株式会社
 TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127